

# なかがわ 議会だより

No **130**

2019.10

▶発行/中川町議会 編集/議会広報特別委員会



9月29日 森のさんぽと薪のごちそう  
初めての薪割に真剣な眼差しの子どもたち

## 主な 内容

- 第3回 定例会〔一般質問 3氏〕
- 全道町村議会広報研修会
- 議会関連報告
- 議会日誌
- 編集後記

# ◆第3回定例会◆

令和元年第3回定例会は9月19日招集され、会期を10月11日までとし、3議員の一般質問、報告2件、議案3件、予算4件、意見書1件、議員提案条例1件、会議規則4件、決算審査を決議し、閉会しました。



第3回定例会の様子

## 議案審議結果

### 【報告】

▼平成30年度中川町健全化判断比率の報告 **【報告済】**

平成30年度中川町健全化判断比率は11・5%。早期健全化基準25%を下回る。

▼平成30年度中川町資金不足比率の報告 **【報告済】**

平成30年度は資金不足が生じなかったため数値なし。経営健全化基準を下回る。

### 【条例】

▼中川町森林環境譲与税基金条例の制定について **【原案可決】**

森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の公布に伴い、当該譲与税を基金として積立て、森林の整備に関する諸施策の要する経費に充てるため、中川町森林環境譲与税基金条例を制定するもの。

▼中川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について **【原案可決】**

子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の施行に伴い、

所要の改正を行うもの。文言等を整理し、内閣府令に定める基準と同様に一部を改正するもの。

▼中川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する条例の一部を改正する条例について **【原案可決】**

子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の施行により、第1子の小学校就学前3年間も無料化の対象となる。

### 【予算】

▼令和元年度中川町一般会計ほか3特別会計予算補正（9月19日提出）

■歳入歳出総額に、それぞれ5935万5千円を追加し、予算総額をそれぞれ38億3376万5千円とする。 **【原案否決】**

主な補正内容は、薪ストーブ購入、産地パワーアップ事業補助、男女脱衣所床張替工事などの追加。

▼令和元年度中川町一般会計予算補正（9月20日提出）

■歳入歳出総額に、それぞれ5625万5千円を追加し、予算総額をそれぞれ38億3066万5千円とする。 **【原案可決】**

主な補正内容は、産地パワー

アップ事業補助、男女脱衣所床張替工事などの追加。

▼令和元年度中川町国民健康保険特別会計予算補正

■歳入歳出総額に、それぞれ126万円を追加し、予算総額をそれぞれ2億4995万8千円とする。 **【原案可決】**

主な補正内容は、出産育児一時金の追加。

▼令和元年度中川町簡易水道事業特別会計予算補正

■歳入歳出総額に、それぞれ90万円を追加し、予算総額それぞれ4億7430万4千円とする。 **【原案可決】**

主な補正内容は、中山間地域総合整備事業負担金の追加。

▼令和元年度中川町農業集落排水事業特別会計予算補正

■歳入歳出総額に、それぞれ250万3千円を追加し、予算総額それぞれ1億212万5千円とする。 **【原案可決】**

主な補正内容は、合併処理浄化槽設置工事の追加。

【会議規則に伴うもの】

▼閉会中の継続調査の申し出（総務常任委員会）



■事件

- 1 医療・福祉施設の運営について

- 2 住民交通機関対策について

- 3 地域教育力の向上について

■期限

令和元年第4回定例会まで。

【継続調査決定】

▼閉会中の継続調査の申し出

(経済常任委員会)

■事件

- 1 産業振興対策の現況と今後の展開について

- ・農業振興政策について

- ・有害鳥獣対策について

- 2 公共施設の今後のあり方について

■期限

令和元年第4回定例会まで。

【継続調査決定】

▼閉会中の継続調査の申し出

(議会運営委員会)

■事件

- 1 本会議の日程等議会の運営に関する事項について

■期限

令和元年第4回定例会まで。

【継続調査決定】

▼議員派遣の件について

令和元年上川町村議会議員研修会  
【議員派遣決定】

【意見書】

▼林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

■地方自治法第99条の規定に基づき関係各位に送付。  
※意見書の要旨は7ページに記載

【議員提案条例】

▼中川町に放射性物質等を持ち

込ませない条例の制定について

条例審査特別委員会へ付託し審査することに決定。

▼中川町に放射性物質等を持ち

込ませない条例審査特別委員会審査報告

本委員会に付託された、『中川町に放射性物質等を持ち込ませない条例』の制定については、原案否決すべきものと決定。

【決算審査】

10月10日・11日の2日間にわたり審議しました。詳細については、次号にてお知らせします。

質疑応答

▼(令和元年度中川町一般会計予算補正)

■問標準宅地鑑定評価業務が3年に1回の定期的な業務委託ならば、なぜ今頃補正が出るのか。

■答当初予算に載せるべきだった。今後気を付けたい。

■問薪ストーブの導入台数、どこに設置するのか、目的は何か？

■答1施設において3基の高気密性の薪ストーブの導入を検討している。場所は、クラフト作家が現在活用している旧幼稚園。平成28年に事業調査し議会に報告している木質バイオマス調査報告に基づいた事業展開を、森林環境譲与税を活用し導入するもの。

■問薪ストーブを設置するにあたって旧幼稚園の耐震はどうなっているのか？

■答施設の耐震は、対応していると環境整備課から報告を受けている。薪ストーブを設置する、1ヶ所においては煙突が無く新たに煙突を設置する。

■問薪ストーブ3基の詳細を。

■答煙突を設置する1ヶ所においては130万円ほど。2ヶ所については集合煙突が利用でき、ストーブ導入にそれぞれ90万円、

計310万円となる。

■問5ヶ年にわたり公共施設や民間でも薪ストーブの導入実績ゼロ件という中で、しかも、温泉への薪ボイラーの導入について、議会特別委員会より答申を出しているにも関わらず、なぜ薪ストーブ購入事業となるのか、そして導入先が旧幼稚園なのか。

■答薪をつくり販売しているが、実際その多くを残している。また、当該施設では、元地域おこし協力隊が事業を営んでおり、事業から出た資源も使いながら薪ストーブを焚いている。更に、その事業者から施設使用料を徴収しているとしながらも、これまでも様々な支援をしてきている。本町の森林環境の保全と森林事業の振興を考えたとき、本提案について賛成でかかぬ。

■答本事業は、平成28年度二酸化炭素排出抑制対策事業補助が発端です。公共施設に対し木質バイオマス資源を導入し、薪をエネルギー資源として持続的に活用しようとするもの。その推進を図るため森林環境譲与税を財源として本事業を整備すること

は、目的として問題ないという見解を上川総合振興局林務課からいただいている。当該施設の利用形態や薪製造の推進状況など、整理しなければならない部分はありますが、本事業の導入計画調査報告の成果として取組む事業でありますのでご理解願います。

■問1台90万円のストーブはイメージできない。もっと安価なものはないのか。

■答高気密ストーブでなければ、事業上必要となるデータの計測ができないためであります。

■問当該施設の選定理由は、設置費用が抑えられ、維持管理について人材活用が期待できると判断し選定しました。

▼(令和元年度中川町簡易水道事業特別会計予算補正)

■問中山間地域総合整備事業負担金における90万円の追加内容は？

■答発注後に受注業者が働き方改革による週休2日制の導入を選択したことに伴い、経費率の増加による事業費の補正。

討論

▼反対討論 一般会計予算補正について認められない部分がある。修正を行い、会期内に改めて再提出を求める。

■賛成討論 なし(原案否決)

再提案

翌20日再提案。(原案可決)

## 問 子どもたちの安全対策について

**答** 地域と学校が連携を強化し、子どもたちをしっかりと犯罪と交通事故から守ります

昨今、毎日のように各メディアで報道されているとおり、子どもたちの大変痛ましい悲惨な事故や事件が続いており、町内の保護者の方々からも心配や不安の声が上がっています。

教育行政方針の中でも、

「中川町いじめ防止基本方針」に基づき早期発見、早期解決に向け取り組みとあり、交通安全・防犯対策等としても重要な課題だと思います。そこで次の点をお伺いします。

### 一、町内や学校の防犯対策

学校や町内防犯カメラなど防犯対策の実施状況について二、不審者や通学路道路情報の安全対策

学校等での不審者対策や自主防犯活動のあり方について

### 石垣町長

1点目の「町内や学校の防犯対策について」ですが、町内における防犯対策は、中川町地域安全推進協議会を中心とし、美深警察署と連携しながら個々の防犯意識を高めて

おり、学校現場における対策としましては、小中学校ともに、設置された防犯カメラによつて、職員室内のモニターから来校者を確認することができるようになっており、不審者等の侵入対策に備えているところです。

2点目の「不審者や通学路道路情報の安全対策について」ですが、小中学校においては、不審者等侵入の際の避難訓練を年1回実施しています。また、小中学校ともに集団下校訓練を年2回実施しております。

通学路道路情報の安全につきましては、月2回の交通安全全点検日を設定し、教職員と保護者で通学路の所定の場所において、登校時の安全点検を行っており通学路の安全確保のための改善・充実を図っております。

今後とも、更なる子どもの安全対策に取り組んでまいります。

## 問 商工業と観光振興策について

**答** ・積極的かつ計画的な投資を支援します  
・東京都世田谷区と相互の交流協定を目指します

交流協定を目指します

ここ数年、事業主の高齢化や後継者不足のため、店を閉めてしまう状況が目立ち始めており、今後そのような事態が起こる可能性が高いと考えられます。商店街にとつて厳しい状況がみられております。本年度の町政執行方針の中で、小規模事業者の新規開業や事業継承に対する支援、後継者の確保や従業員の確保に資する、新たな商工業振興に向けた制度設計を早急に進めて行くとありますので、次の点をお伺いします。

### 一、商工業振興について

商工振興条例を今後どう考えていくか

### 二、観光振興について

町の観光振興策として世田谷との交流のあり方について

### 三、消費税増税について

プレミアム商品券やポイントカード支援について

### 石垣町長

1点目の「今後の商工業振興について」、個人事業主が新たに商工会に加入するなど、



佐々木英和 議員

会員数は微増している一方で、事業を停止、規模を縮小する経営者もいることから、商工業を取り巻く環境は、非常に厳しい状況にあります。平成28年度に商工業振興条例を施行し3年が経過しました。その成果として、担い手確保・承継1件、起業3件、人材育成・確保10件、経営の維持・改善27件でありました。

本条例は、低迷する商工業経営の安定と定着を図ることを目的に、極めて喫緊の課題として取り組まれた施策です。今後、事業主の皆様が積極的かつ計画的に設備や雇用に對し投資できる環境を、財政の許す範囲において構築して参ります。

2点目の「観光振興について」、世田谷区並びに下高井戸商店街振興組合との交流事業については、「都市から地方へ人の流れをつくる」をテーマに、官民連携しながら、様々な情報発信、相互交流、調査活動を展開しています。

下高井戸商店街サテライトスペース「ナカガワのナカガワ」は、年間1万人を超える来客があり、更に情報の発信・受信力を強め、町の魅力をPRするとともに、地方創生に関わる地域活性化・経済構造のあり方について、日本大学文理学部のゼミやサークルなどの協力を仰ぎ、人的交流や物販交流の充実と、文化・教育交流などを推進しているところです。本年は、国が進める地方創生の第2ステージに向けて、推進交付金などの財源確保と官民連携、地域経済循環の模索など、戦略を定め90万都市世田谷区と中川町との相互の交流協定を目指します。

3点目のプレミアム商品券については、住民税非課税の方や乳幼児子育て世帯に対して、25%お得に買い物ができる商品券の販売を進めています。ポイントカード事業については、今後も、事業の洗練を図って参りますので、ご理解をお願いいたします。



問

町有・町民の財産である  
保安林森林事業のあり方

答

適正な行政事務処理を行い、  
再発防止に努めます

中川町の林業は、国の林業構造改善事業を活用し、補助金を受けて振興を図っております。

しかし、事業項目が次々と変わり実施され、現地の状況は森林事業の目的と異なった実態にあります。

2点について伺いたいします。

平成27年度（共和保安林）事業の効果について及び平成29年度（板谷胡桃沢）の事業効果について

石垣町長

共和保安林事業で未施工となつていました施工箇所について、過剰間伐となったことは森づくりの観点から反省しなければならず、当該箇所については、改めて現状調査により分析を行い、上川総合振興局林務課と協議し、当該地における今後の経営計画を検討してまいります。

板谷胡桃沢事業では、上川総合振興局の許可を得ず、林業機械の作業による一部土地の形質変更が確認された箇所については、再発防止に努めてまいります。

再質問

工事が未施工状態でありながら、道から補助金を受けた経緯と、この事業に関わつて未施工工事の返還金について、どのような取扱いになっているか説明をいただきたい。

産業振興課長

工事の中で75・68畝のうち、19・43畝が未施工であると確認され、これについて上川総合振興局を通じて北海道を経由して林野庁で交付金の返還手続きを取っている段階であり、林野庁からさまざまな指導を受け、行政事務処理を進めているところです。

現地に放置されている丸太を集積できない状況となっており、今後、上川総合振興局を通じて協議をして再発防止に努めていきます。

再質問

保安林森林事業に関わつて、昨年12月に北海道から嚴重注意処分を受け、始末書や再発防止対策が求められていた書類はいつ提出されたのか。



小池 豊 議員

産業振興課長

林野庁から指導を受け、事務処理を終えた後、北海道へ提出しました。今後、再発防止に努めてまいります。

再質問

森林事業において、次々と不正工事が起こる原因は何か。また、ここ数年の森林事業ごとの入札後の積算及び決算報告書が町民に明かされておらず、今後明示していただきたい。これらを何時までに明示できますか。

森林は町民の貴重な財産であるので、しっかりとした整備と管理体制をしていただきたいと思ひます。

石垣町長

不適切な工事が数件あり、補助事業上は成立しますが、貴重な町有財産であり、森づくりの理念からすると非常に不適切な状況にあると言ふまでもありません。

森林は町民の財産であります。中川町が掲げる森づくりに沿うよう、木を無駄にしない施策について、受注業者に周知徹底してまいります。

問

地域経済環境創造事業  
（エゾシカ処理工場）の実態は

答

町として極めて重要な事業  
民間活力による事業展開に期待したい

地域経済環境創造事業（エゾシカ処理工場）の実態について

平成29年2月に旧佐久保育所を再活用し、エゾシカの有害駆除として資源利用を通じ地域経済環境創造事業交付金を活用し、行政や金融機関などの融資を得て行った事業であったが、工場の稼働が始まってから経営者が変わるなど、その効果がいまだに発揮されていない状況と思われる。

稼働状況と将来の展望について伺ひたいします。

石垣町長

稼働状況についてですが、平成29年初年度は8月下旬操業開始という大幅な捕獲駆除体制の準備不足から、捕獲予定頭数を下回りましたが、個体の有効利用を念頭に、予定頭数の確保に向け実施がなされるよう期待をしています。

将来の展望についてですが、エゾシカ解体事業者の経営陣の強化や代表の交代などを経て、プロジェクト推進に努めているものと認識しております。

捕獲頭数の少なさから、まだ

経営軌道に乗っているとは見受けられない状況と考えられます。

再質問

資源の利用を目的として当初の捕獲数は年間300頭予定となつていたが、どうお考えか。

産業振興課長

年間300頭の計画であつたが、相手は生き物であり目的の達成が困難な部分がある。日中の出没の減少で目的に達成していないことは事実であります。

再質問

本事業は多額の資金を使つて行つており、町民も期待しているのに、中途半端にならないように、何らかの形で地域に残すべく対策を講じるべきだと思ひます。

石垣町長

多額の資金を投入した事業であり、中川町のまちづくりの観点から極めて重要な事業であると考えます。計画どおりに進んでいない部分もあるが、民間活力による事業展開に町も期待し、できる限りの推進を図りたい。

問

議会に対する資料の提供について  
各種事業に対する事前の説明について

答

議会からの資料請求は、適切に対応します  
「みんなでつくるまちづくり」を進めます

1、議会に対する資料の提供について

町長の考えをお聞かせします。

「重要な政策は議会への丁寧な説明」とありますが、議員にとって丁寧な説明と言うのは、口頭で済む短い説明もありますが、数年にわたる実績結果や数カ月にもわたる事件の経過説明等、多数の日付や数値が説明資料として出てくる場合は、紙媒体で示してもらわなければ、1回聞いただけで理解できないと思います。資料を先に出してもらう事がなぜできないのか？「議員が十分な資料を与えられず、十分な理解もできない様な状況で採決を行っている」と前任期の4年間感じていました。

議案審議の前に提案説明を行い、議員からの資料請求があつたら積極的に資料を提供するという議会運営のほうがずっと効率的で的確な採決が期待されるのではないのでしょうか。

石垣町長

重要な政策は議会への丁寧な説明が必要と考えていますし、その説明に必要な資料、あるいは議会の皆様が必要とされる資料につきましては、適宜、提出させていただく所存であります。

平成31年4月1日から施行された中川町議会基本条例第7条におきましては、予算及び決算における説明資料の要求について、「議会は、予算案及び決算の審議に当たっては、前条の規定に準じ、町長に対し施策別又は事業別の分かりやすい説明資料の作成及び提出を求めるものとする。」とありますので、議案の審査等に関連しての議会からの資料請求につきましては、すべからく対応してまいりますので、議員各位のご理解とご協力をお願いいたします。



内山信悟 議員

再質問

行政当局が政策を立案、計画する中で、調査・研究をしていると思います。集まった良いデータ、結果の悪いデータ、結果もすべて共有して、検討しなければ間違つた判断になる可能性が大きくなると思います。限られた財源の中で、効率の良い政策を実施する責任は行政組織にも議会にもあるはずで、行政は持っている資料、データを議会に提供しなければと思いますか？

石垣町長

今後ルールに従って、議会と相談し、適時に資料は提示します。

2、各種事業に対する事前の説明について

私にしたら、ある日突然降つてわいたような事業計画が議会に提出され、例えば「総務省の補助が決まった。全国で数カ所しかもらえない農水省補助事業が決まったので町の負担はこれだけです。ぜひ、議会での承認をお願いします」中央省庁の補助が決めたので今更中止できない等の説明を受け承認してきました。

申請前に議会に対して全員協議会、又は臨時会を招集して議決する時間的余裕はあつたのではないかと思つています。この様な事は、丁寧な説明以前の問題ではないでしょうか。

石垣町長

私は令和元年度執行方針において、大規模な事業等につきましては、適切な時期において、町民の皆様の参加により、様々な意見を求めながら計画を策定し、「みんなでつくるまちづくり」を進めることをお約束いたしました。今後の行政執行におきましては、

議会会期中に限らず、議長並びに議員各位と協議、相談をさせていただきながら、行政運営上の重要案件や、関連する対外折衝関連事項等について説明し、ご意見を伺つてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

再質問

事業申請において、議会の承認として議決が要件の一つとなつていると思いますが、仮に承認が得られず、事業申請要件が満たされない事態に至つた場合、誰の責任になり、以後の事業申請に対し、悪影響はないのですか。

石垣町長

行政事務としては「議決される見込み」で補助申請等を行うのが通例であります。事業採択を受け予算を提案し、もし否決となつた場合、責任はもちろん首長にあります。場合によっては、以後の事業申請に対し悪影響が生じる場合も想定されますが、議会及び住民の皆様への説明責任を十分に果たし、ご理解いただけるよう進めてまいります。

# 林業・木材産業の成長産業化に向けた 施策の充実・強化を求める意見書を採択 内閣総理大臣他に直ちに送付

## 林業・木材産業の成長産業化に向けた 施策の充実・強化を求める意見書

本道の森林は全国の森林面積の約4分の1を占め、国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待されており、これらの機能を十分に発揮させるためには、「植えて育てて、伐って使って、また植える」といった森林資源の循環利用を進める必要がある。

森林の整備を進め、木材を積極的に利用していくことは、山村地域を中心とする雇用・所得の拡大による地方創生にも大きく貢献するものである。

道では、森林の公益的機能の維持増進と森林資源の循環利用の実現に向け、森林整備事業及び治山事業や林業成長産業化総合対策事業等を活用し、植林・間伐や路網の整備、山地災害の防止、木造公共施設の整備、林業事業体の育成など、さまざまな取り組みを進めてきたところである。

今後、人工林資源が本格的な利用期を迎える中、既存の制度や森林環境譲与税を活用した地域の特性に応じた森林整備の着実な推進や、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化の実現に向けて施策の充実・強化を図ることが必要である。

よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く要望する。

### 記

- 1 森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。
- 2 森林整備事業の都道府県・市町村負担分の起債を可能とする地方債の特例措置を継続すること。
- 3 森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みや森林づくりを担う林業事業体や人材の育成に必要な支援措置を充実・強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和元年9月20日

内閣総理大臣 他10名 宛

北海道中川郡中川町議会議長 佐藤 輝雄



# 議 会 日 誌

7月

30日 第2回経済常任委員会

8月

2日 中川まつり（4日まで）

7日 全道林活連絡会総会・懇話会 【札幌市】

8日 鷹栖町市政執行50周年記念式典 【鷹栖町】

9日 第2回総務常任委員会

10日 北口ゆうこう道議と語る青空の集い 【士別市】

16日 納涼盆踊り大会

20日 議会広報研修会

23日 西天北五町衛生施設組合8月定例会 【幌延町】

30日 第2回上北消防事務組合議会臨時会 【名寄市】

「ファンミーティングinながかわ」

「

1日 第26回幌加内町新そば祭り 【幌加内町】

「

6日 第51回中川町スポーツ少年団本部創立記念剣道大会

11日 第12回全員協議会

第9回議会運営委員会

12日

山の神祭典

中川町敬老会

13日 中川町交流情報発信拠点施設運営協議会交流会

15日 第37回ながかわ秋味まつり、第31回北海道丸太押し相撲大会

19日 第13回全員協議会

「

20日 第3回定例会（1日目）

21日 第3回定例会（2日目）

26日 中川中学校第72回学校祭

27日 地域エネルギー講演会

26日 日本大学文理学部社会学科後藤ゼミ交流会

2日 岐阜県飛騨市長来町懇談会

3日 中川町に放射性物質等を持ち込ませない条例審査特別委員会

5日 ながかわふれあい広場2019社会福祉大会

6日 ささき隆博ふるさとの集い 【旭川市】

7日 上川北部市町村議会議長会9月定例会

10日 第3回定例会（3日目）

【中川町】

第3回定例会（3日目）

「

11日 第14回全員協議会

「

13日 第3回定例会（4日目）

中央小学校第46回学習発表会

17日 上川管内町村議会議長研修会 【愛別町】

20日 第11回ながかわ植樹祭

21日 中川消防秋季消防総合訓練

21日 参議院議員鈴木宗男先生に対する要望会

【名寄市】

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

## 全道議会広報 研修会に参加して

8月20日（火）札幌市で行われた議会広報研修会に、広報委員（佐々木・小池）と事務局の3名で出席してきました。講師に豊田健一氏を迎え、『読者目線で親切な広報誌を作るには』と題し、広報紙の役割は、読み手である住民へのきつかけの提供であり、住民目線の内容で、どうしたら読んでもらえるかが重要であることを学びました。

講義の中では、実際に町村で発行されている議会広報紙を基に、写真の選び方や紙面の構成など、良い点、悪い点を具体的に指導いただき、今後、広報紙を作成する上でとても参考となる有意義な研修となりました。

講義の中では、実際に町村で発行されている議会広報紙を基に、写真の選び方や紙面の構成など、良い点、悪い点を具体的に指導いただき、今後、広報紙を作成する上でとても参考となる有意義な研修となりました。

## 編集後記

朝晩がとても寒くなってきたこの頃ですが、中川町議会だよりを読了して頂きありがとうございます。町議として何をしているの？」とよく言われる言葉です。政治への無関心さも叫ばれている昨今、我が町では議会への傍聴者がとても多く、政治への無関心さは無縁の話かと思えます。我々「議会」から更なる情報発信が必要であることは間違いないありません。二元代表制という言葉どおり、行政（＝町役場）と町議会は町政を前に進める両輪だと考えています。新しいことを行うプロジェクトから、生活に身近な問題まで、町議会が扱うテーマは多岐にわたります。町民の皆様にも身近な議会広報紙として「伝える」ように「伝える」を工夫して今後も作成していきたいと思っています。皆様のお声が私たちの原動力となります。ご意見・ご要望をお気軽に聞かせただければ幸いです。（英責）

### 議会広報特別委員会

委員長 佐々木英和  
委員 小池 豊



今年もたくさんの方にお越しいただいた敬老会



より良い広報紙作成へ意気込む広報委員

